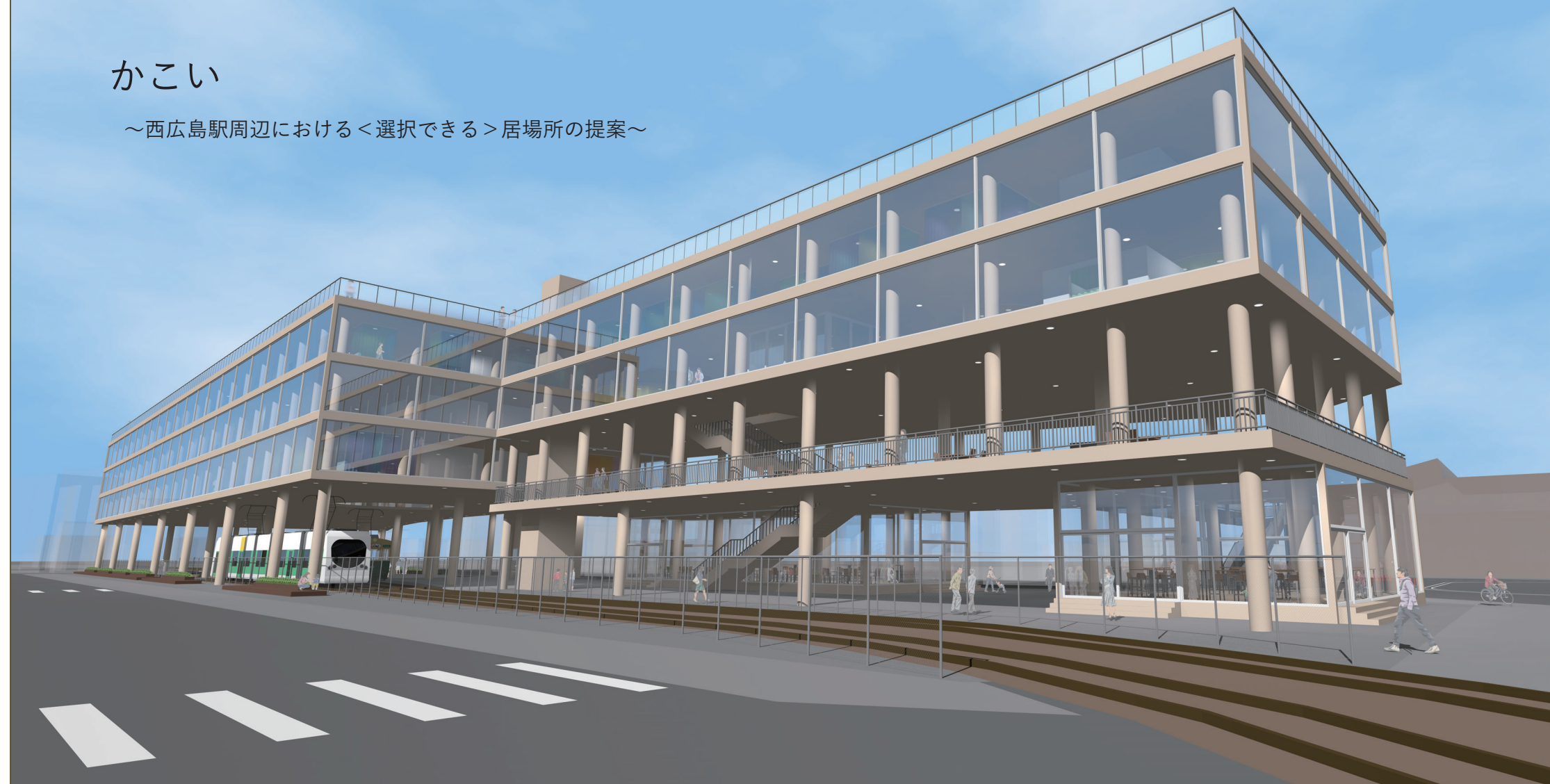


# かこい

～西広島駅周辺における〈選択できる〉居場所の提案～



## 背景

人と人との繋がりには、人間関係の距離が近く信頼関係のある強い繋がりや、SNSのみや顔見知り程度の弱い繋がりがある。現代では強い繋がりより、弱い繋がりをもつ傾向にある。また、自宅と職場や自宅と学校などの往復を行うだけの生活で、他に居場所を持っていない

人が多い。しかし、日常的なストレスから解放されるためにも、自宅と職場や学校以外に居場所を持っておくことが良いとされる。さらに、一人で自由に過ごせる空間を好むが、独りにはなりたくないと思う人が増加している。

このように人と人との繋がりや在り方に新しい変化が生じている現

代にとって、居場所となる空間とはどのようなものが考えられるだろうか。一つは、自宅や職場、学校での人間関係と違い、他人との距離や関係を選択することができる空間であると考えられる。目的が明確ではないふらっと訪れることができる場所に、一人で過ごすことも、人と繋がることも選択できる空間が必要であると考えられる。

## 目的

本計画は、自宅や職場、学校以外の場所に、人間関係を選択できるように、深くは知らないが顔は知っているという繋がりの人を増やし、その起点となる空間を提供することを目的とする。

## 敷地

敷地は、広島県広島市西区己斐本町にある、広電西広島駅とその周辺地区であり、下図の赤い線で囲った範囲である。広電西広島駅は、太田川放水路の右岸に位置する。北には JR 西広島駅があり、広電バスや広島バス、ボン・バスの停留所、タクシー乗り場もある。将来はアストラムラインの駅が開業する予定である。南側の道路にもバスの停留所がある。また、駅北側の丘陵地には住宅街が広がり、己斐地区の人口は 21,857 人である。JR と路面電車の乗降客数をみると、JR 西

広島駅が 18,652 人 / 日、広電西広島駅が 11,943 人 / 日である。このように自宅と職場や学校との間を歩き来するための乗り換えの起点となっており、アクセスの良いことが敷地選定の理由である。

また敷地の現状について、西側は、路面電車のホームがあり、ホームより東側の部分は、ひろでん会館の跡地である。2020 年に、賑わい作りのためにパブリックスペースや小規模店舗のある施設「KOI PLACE」ができ、暫定的に活用され出している。計画をする際は、路面電車のホームはそのままにして上部を利用する。

## プログラム

敷地には、選択できる居場所となる空間を計画する。計画敷地が乗り換えの起点となっていることから、乗り換えやお迎えの待ち時間に落ち着くことのできる空間をつくり、それぞれの人が選択できるようにする。

また、落ち着くことのできる空間にはどのようなものがあるかを検討した。検討した結果、一人になれる空間や周囲の視線が気にならない空間、他人との一定の距離があると落ち着くことができると考えた。

他人との距離があまりなくても、仕切りなどで視線を遮ることで、落ち着くことのできる空間に変えられるとも考えた。

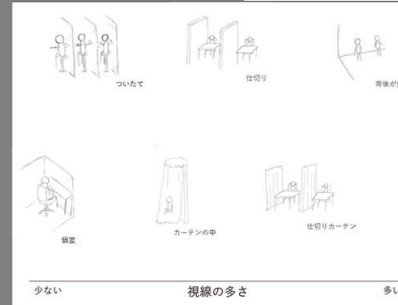
このような検討を踏まえて、本計画では、それぞれの人が、待ちあいなどの少しの時間でも、落ち着くことのできる多様な空間をつくる手法として、仕切りカーテンの利用に着目する。仕切りカーテンを用いることによって、自分の好みや利用時の気分に応じて空間の大きさやカーテンの色を選択できるようにする。



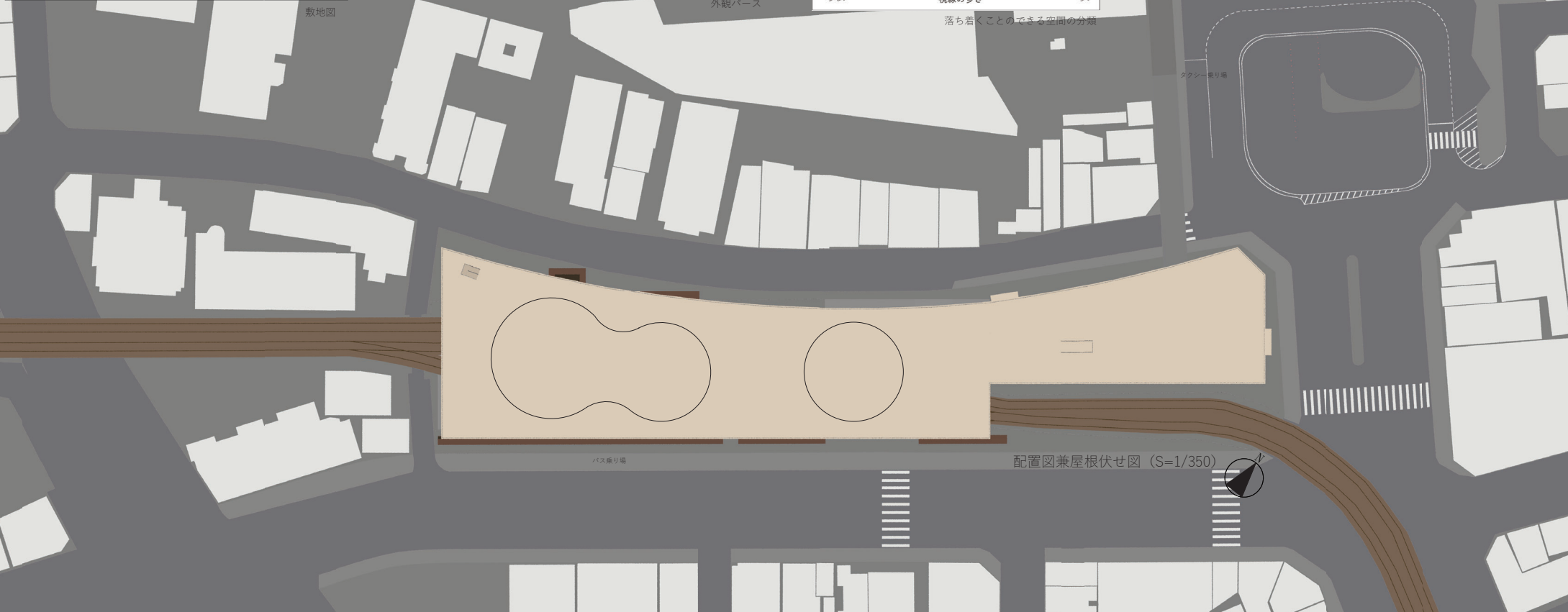
敷地図



外観パース



落ち着くことのできる空間の分類

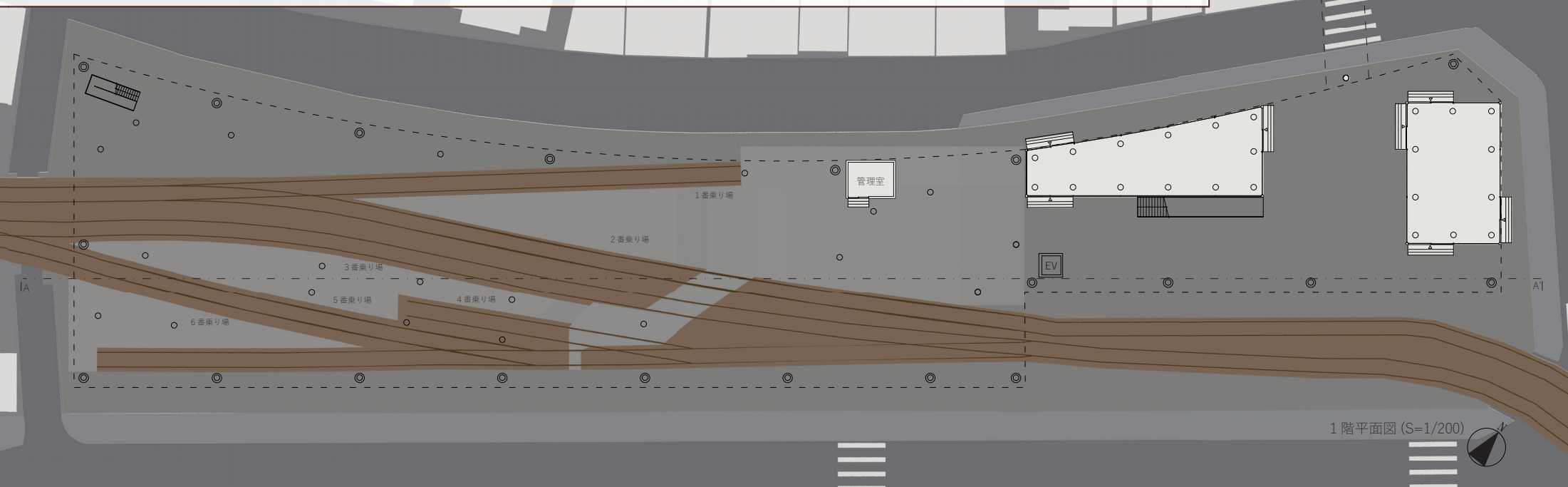
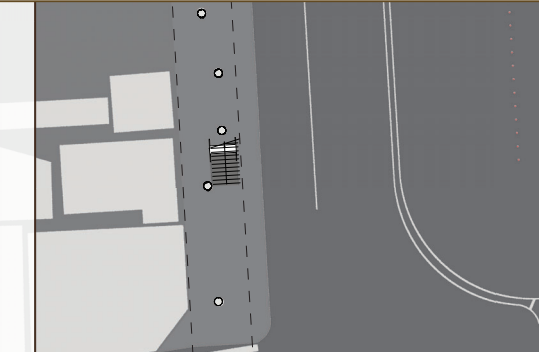
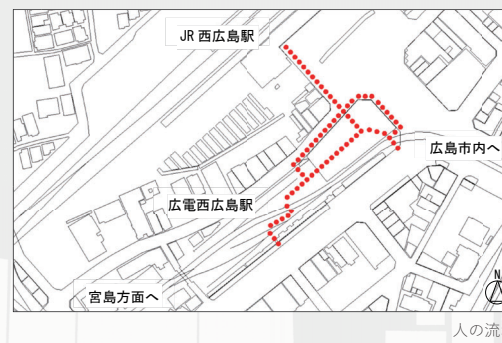


## 計画の内容

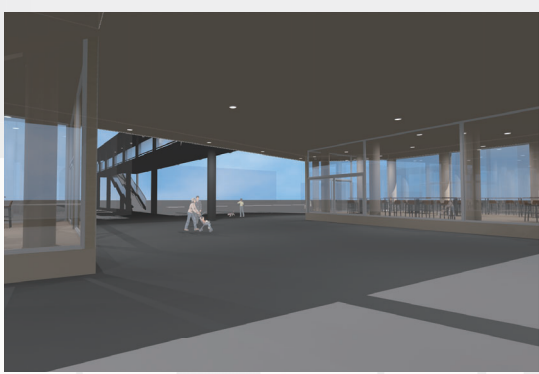
### 配置計画

本計画は、RC造4階建ての施設を計画し、2階でJR西広島駅と接続する連絡橋も設ける。施設は全体をガラスのカーテンウォールとし、外から中の様子をうかがえるようにする。また、柱やスラブの仕上げに木質の材料を用いて、全体を落ち着いた雰囲気とする。

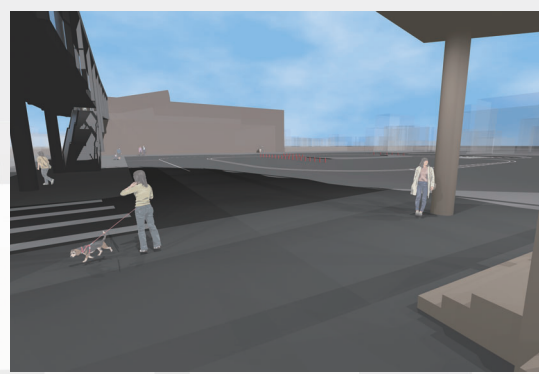
1階は、路面電車の線路と広電西広島駅のホームがあるためピロティとする。西側は、現在のホームにかかる屋根の柱位置を参考にしながら、電車の往来や人の乗降の邪魔にならないように柱を配置する。一方、東側は、右図に人の流れを示すように、広電西広島駅やJR西広島駅、バスの乗り換えやタクシーの利用など、人の行き交う場所となる。そこで、待ちあいのスペースとなる空間を設け、敷地とその周辺の人の流れを考慮して、道路沿いの2か所に配置する。



路面電車のホーム



1階ピロティ

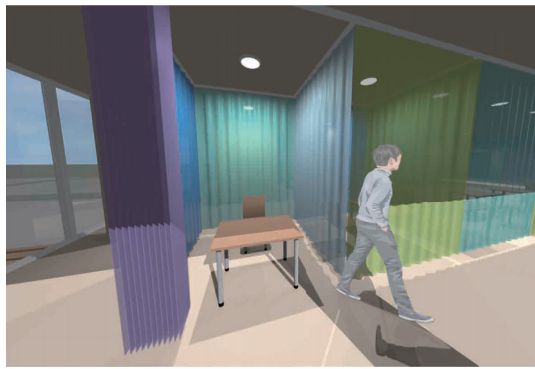


ターミナル



東側から見た施設

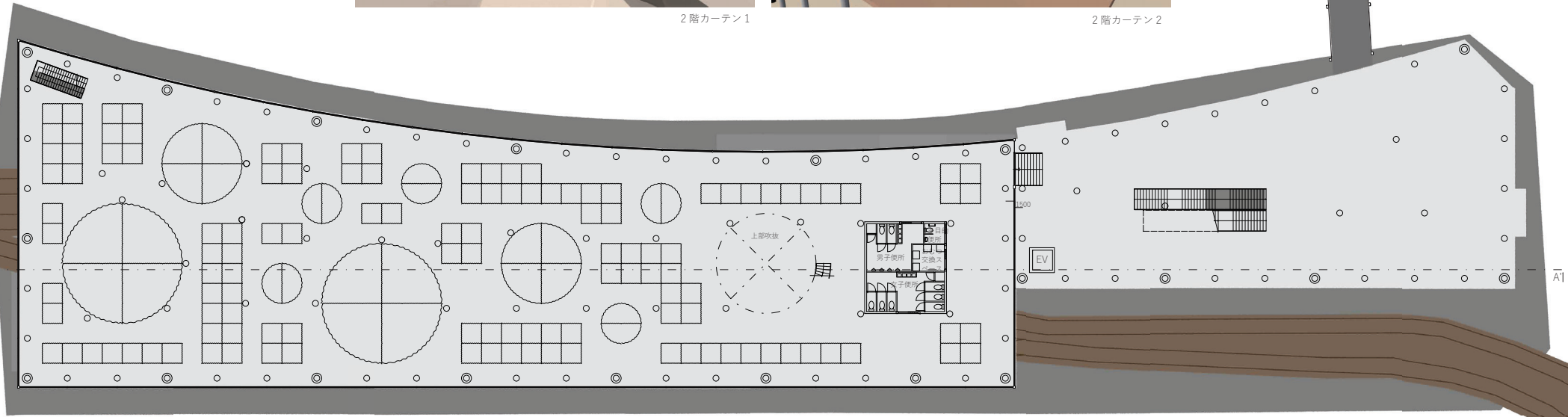
2階について、広電西広島駅のホーム上部にあたる西側は、カーテンを使用してつくる空間とする。ガラスで囲われた中に、布のカーテンで空間をつくる。カーテンで四角に仕切られた空間を一つ使用して一人で利用したり、いくつか使用して数人で利用したりできる。さらに、丸で仕切られた空間を使用して10人以上で利用することもできる。一方、東側は、JRの駅と連絡橋で接続する。周囲に壁を設けず、半屋外の空間とする。床のレベルも西側より下げ、屋内とは違う印象を持たせるようにする。



2階カーテン1



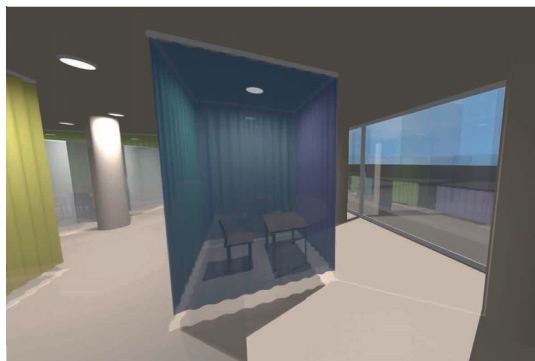
2階カーテン2



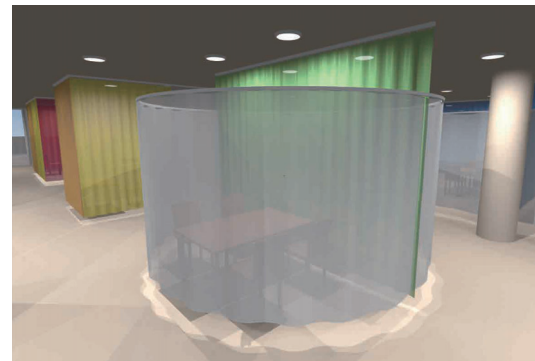
2階平面図 (S=1/200)



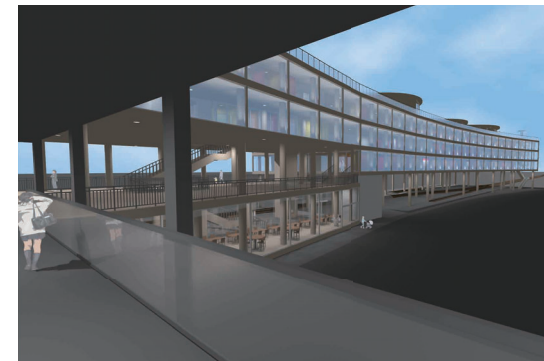
施設内から見た連絡橋



2階カーテン四角

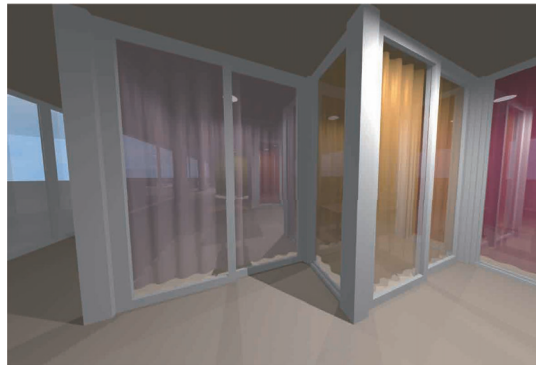


2階カーテン円

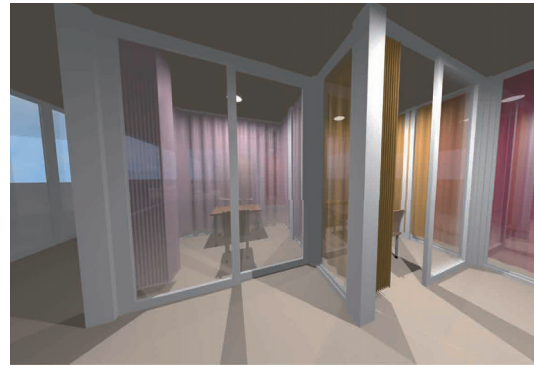


連絡橋から見た施設

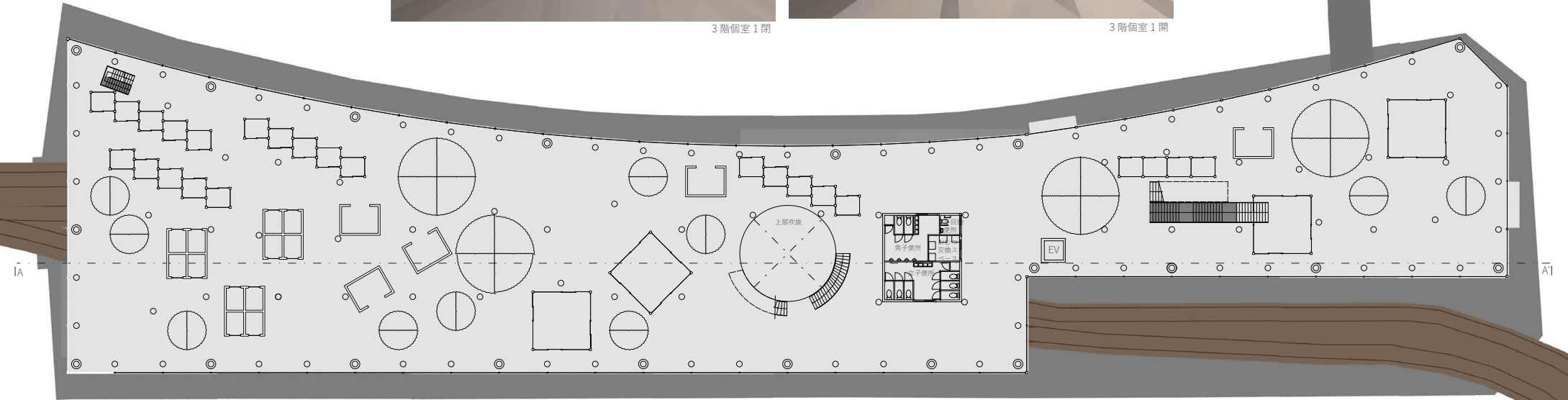
3階は、レベル差を設けずに、一体に計画する。カーテンのみではなく、壁やガラスで仕切られた個室や数人で利用できる大部屋もつくる。会議で使用したり、友達と一緒に勉強する際に利用できる空間とする。部屋の中にもカーテンを用いて、使用中であることを示すことや、周りの視線を遮ることができる。



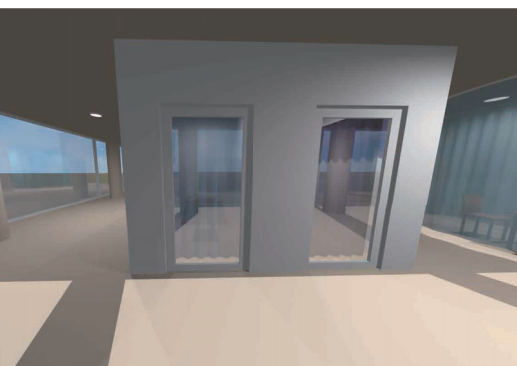
3階個室1閉



3階個室1開



3階平面図 (S=1/200)



3階個室2



3階大部屋1

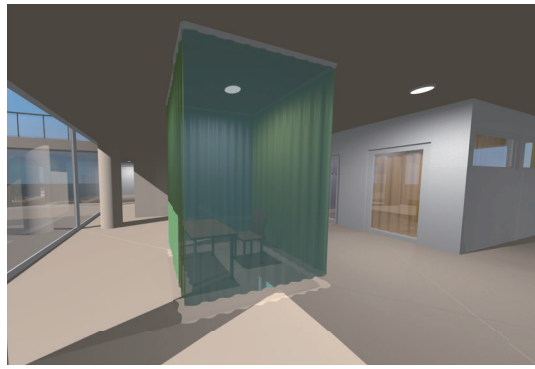


3階大部屋2閉

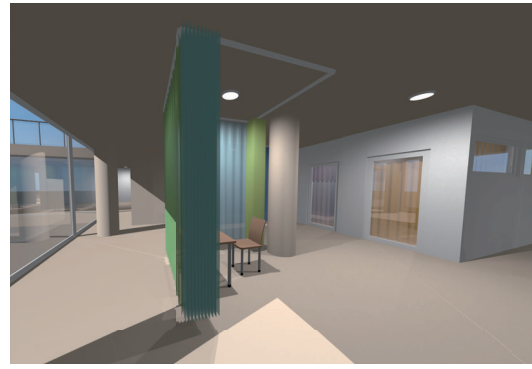


3階大部屋2開

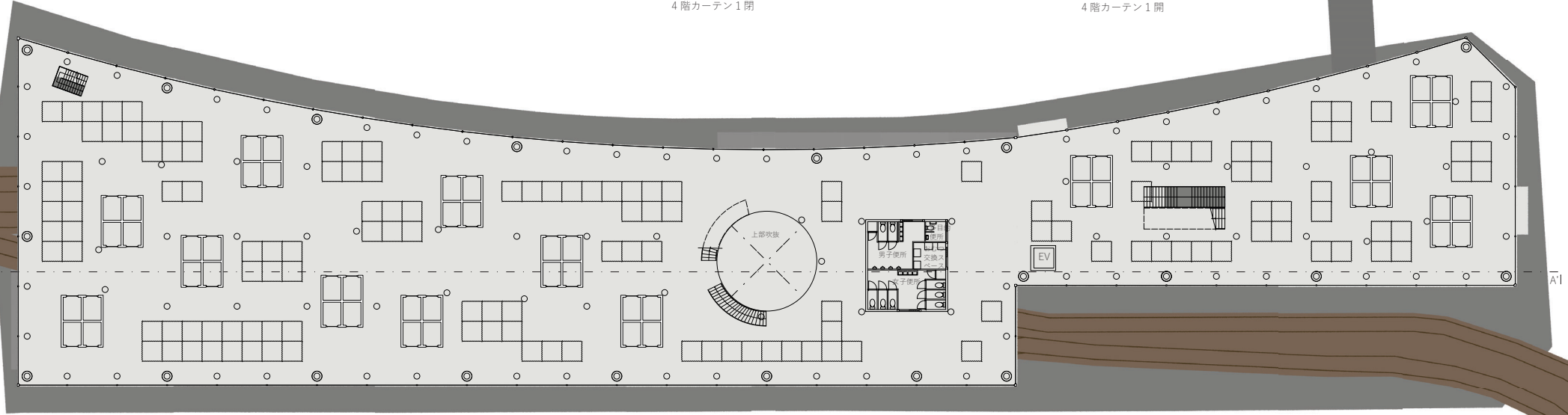
4階も、レベル差を設けずに、一体に計画する。主に一人で利用をする人のための空間とする。壁で仕切られた個室や、カーテンで仕切られた一人分のスペースを設ける。一人で集中して勉強をする際などに利用できる空間とする。



4階カーテン1閉



4階カーテン1開



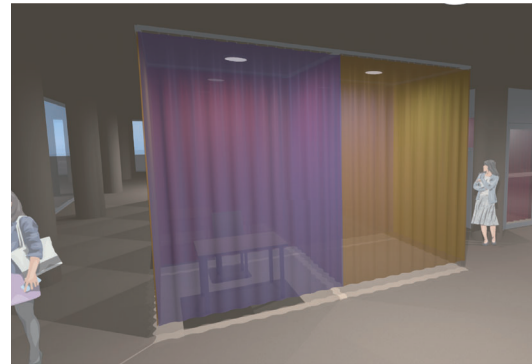
4階平面図 (S=1/200)



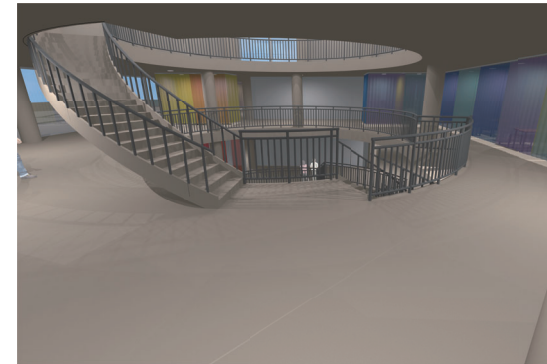
4階個室閉



4階個室開

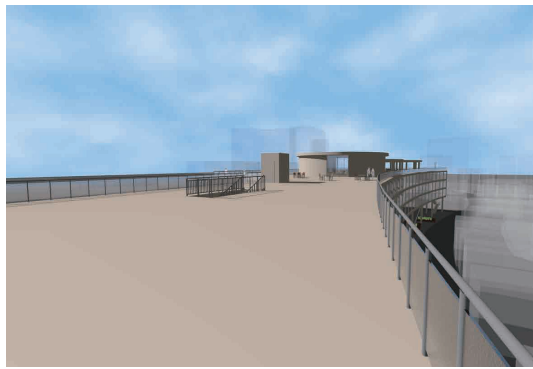


4階カーテン2

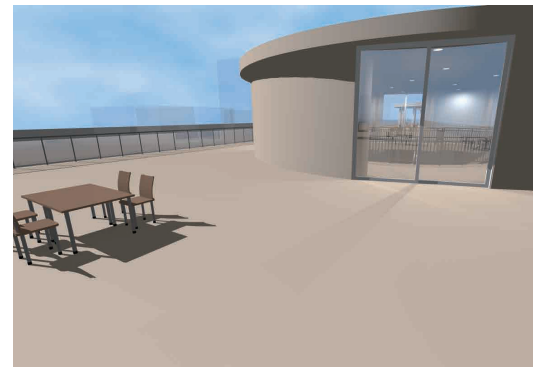


4階吹き抜け付近

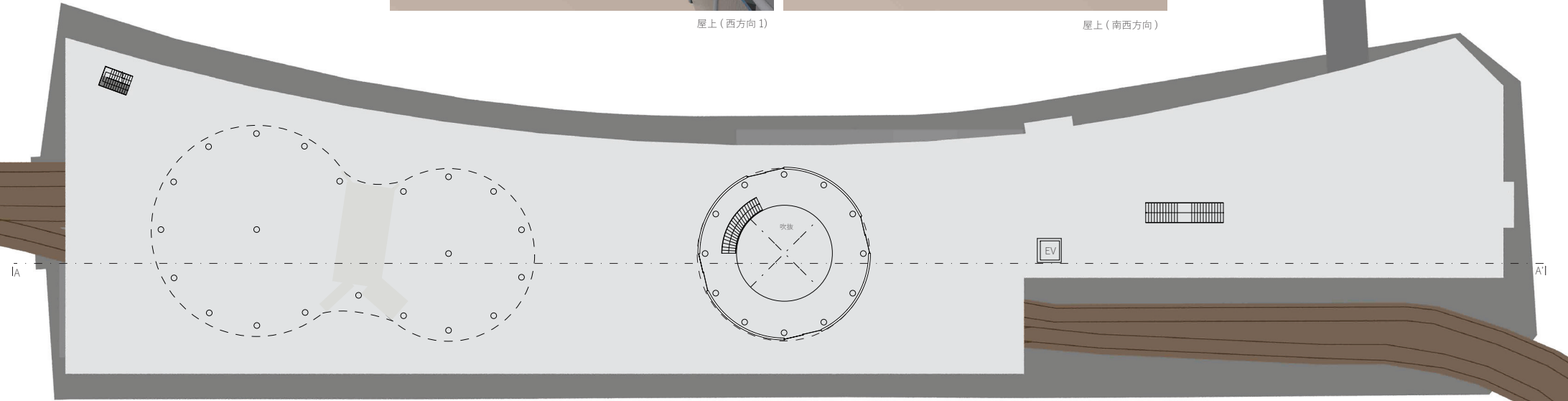
屋上は、一部に屋根のある場所を設ける。屋根の下にある机や椅子で、雨をしのぎながらくつろいだり会話をしたりできる。屋外で広さも十分にあるため、隣の人との距離が取れると考える。



屋上（西方向1）



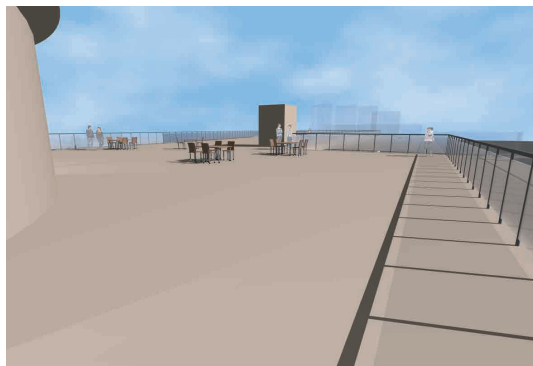
屋上（南西方向）



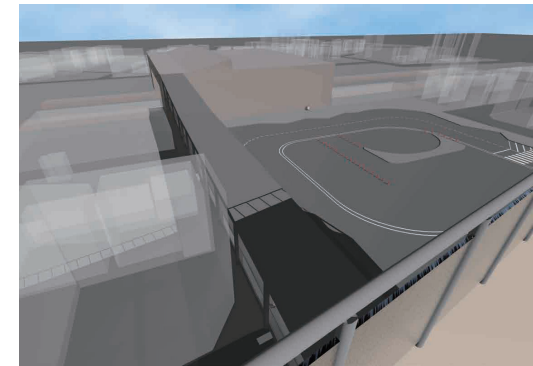
5階平面図 (S=1/200)



屋上（西方向2）



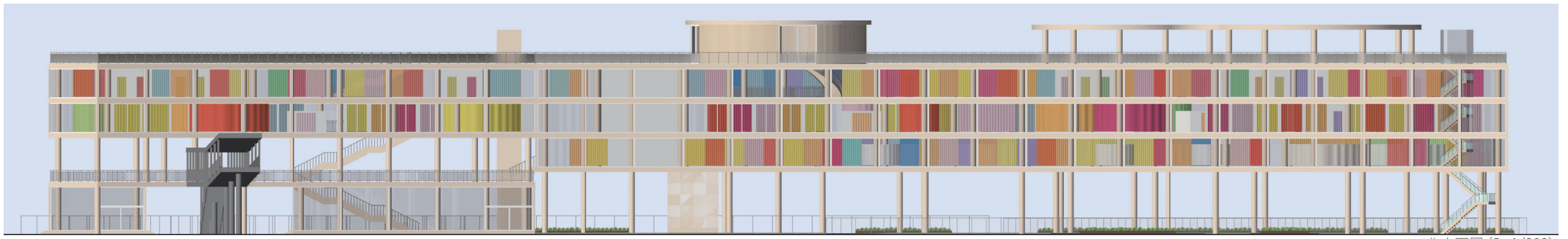
屋上（東方向）



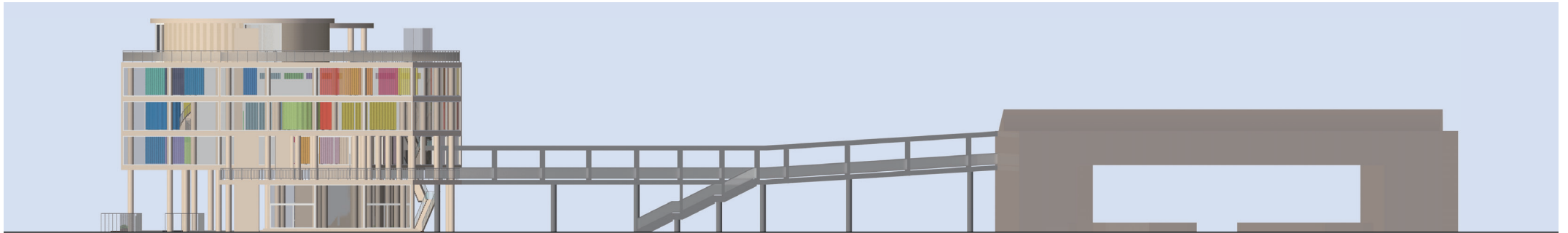
屋上2QR方向）



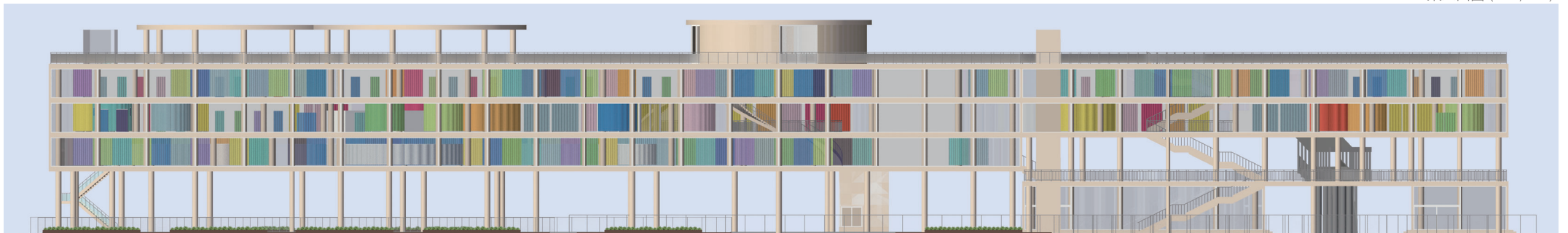
吹き抜け



北立面图 (S=1/200)



東立面图 (S=1/200)



南立面图 (S=1/200)



A-A' 断面图 (S=1/200)



